

保・幼・小接続カリキュラム（幼児期の教育と小学校教育の連続性と互恵性） 「生活」、「関わり」、「学び」のつながり

「3つのめざえ」		接続期（幼児期の教育の10月から小学校教育第1学年5月まで）								
		具体的な活動 場面例				幼児期の保育・教育（アプローチカリキュラム※1）			小学校教育（スタートカリキュラム※2）	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
生	健康で安全な生活をする	ボール遊び リレー遊び	戸外で体を動かす ○さまざまな運動用具を使い、十分に体を動かして遊ぶ ○チーム対抗の遊びを楽しむ ○ルールのある遊びの楽しさを感じる			○めあてをもって繰り返し挑戦する ○いろいろな動きを経験し、楽しく運動する ○ルールを守り、友達と競い合ったり、励まし合ったりしながら仲よく運動する				
		給食 お弁当	先生や友達と食べることを楽しむ ○食事に関するきまりやマナーを守りながら、楽しく食べる ○食べることの大切さが分かり、食・物に関心をもつ ○生活の献けや準備・片付けの手順などを意識して一定の時間内に食・を終えようとする ○自分のアレルギーに関心をもつ			○給食に携わっている人に関心をもつ ○給食に携わっている人に感謝する ○給食の身支度を整え友達と協力して直膳や片付けをする ○食事の仕方が分かって楽しく食べる ○給食の手順や食事に関するきまりを守り楽しく食べる ○給食をみんなと一緒に食・を終える ○自分の食物アレルギーを知る ○自分の食物アレルギーを伝えることができる				
		登園・降園 登校・下校	安全に気を付けて行動する ○危険な場所や危険な行動が分かり、安全に気を付ける			○信号機、道標標識などの意味が分かり、交通ルールを守って登下校する ○安全を守っている人に関心をもつ ○安全な遊び方や場所を身に付ける				
活	自分のことは自分でする	朝や帰りの 支度 着替え	生活に必要な活動を自分でする ○着替えや持ち物の準備や始末するなど身の回りの整理整頓をする ○手洗、うが、トイレの使い方を身に付ける			○衣服の着脱や自分の持ち物の準備や始末（机やロッカー、靴箱の整頓）をする ○学校の施設や固定道具などの使い方を知る ○手洗、うが、トイレの使い方を身に付ける		○宿題や当番活動などが自分でやるべきことを最後まで行う		
		物を大切に する	後片付け	自分の物やみんなで作った物を大切に ○遊んだ後の片付けをする ○共同で道具や用具を使い、協力して片付けをする ○身近なものを大切に使う			○協力して使ったものを元の場所に戻す		○場所を考えて使う ○物を大切に使う	
関わり	人と関わる力を身に付ける	縦割り班遊び 発表会 劇遊び	友達と一緒に遊ぶ ○年少児などに思いやりをもってかわちる ○自分の気持ちとは異なる友達の気持ちを理解したり、共感したりする ○自分が嫌なことや困ることは友達にこぼさない			○先生など学校生活を支えている人々や友達などに関心を持ち、楽しく学校生活を送る ○友達と親しみをもって接する・上級生と親しみや憧れの気持ちをもって接する ○互いの意見をよく聞いたり、気遣ったりして、助け合う ○ペア遊び、ペア学習、グループ遊び、わらべうた、運動遊び、鬼遊びを通して友達との心地よい関わり合いを経験する				
		言葉で 伝え合う	登園・降園 登校・下校	親しみをもって日常の挨拶をする ○元気よく「おはよう」と返事をする ○先生や友達に「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんね」が自然に言える			○名前を呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする ○「～です（わ）」「～ます（わ）」を言う			
		朝や帰りの会	言葉を通して先生や友達と心を通わせる ○先生や友達の話を注意して聞き、理解する ○自分の思いや考えを先生や友達に言葉で伝える ○生活の場に応じた言葉の使い方や表現の仕方が分かる ○困った時に先生や友達と相談したり、自分で考えて解決しようとしたりする			○先生の話や友達の発表を最後まで聞く ○「ありがとう（ございます）」、「ごめんね（さい）」、「うれい（さい）」、「やめて」など自分の思いや考えを言葉で分かりやすく伝える ○経験したことや気持ちなどを話す ○姿勢や口形に気を付けて発音する ○分からないこと、困ったことを先生や友達と相談したり、自分で考えて解決しようとしたりする				
学	きまりや約束を守る	登園・降園 登校・下校 遠足 発表会	友達と共に生活する充実感を味わう ○友達と楽しく生活する中で、きまりの大切さに気づき、守ろうとする ○友達と共通の目的に向かって取り組み、やり遂げた喜びを味わう ○集団生活の献けや時刻を意識し、みんなと一緒に行動しようとする ○「よいこと」、「悪いこと」が分かり、考えながら行動する ○互いのよさを認め合い、友達と協力して活動する			○きまりや約束を守る ○登校や始業の時刻を守る ○「よいこと」、「悪いこと」を区別し、よいと思うことを行う ○人の集まる場所では口を結ぶ ○友達と分担したり、力を合わせたりして当番活動や係りの仕事をする ○学級や集団で整理することができる		○授業前に、次の時間の学習用具を机の中へ揃える		
		好奇心や探究心をもつ いろいろなものに 関わる	飼育 栽培	生活の中で美しいものや心を動かされるものに触れる ○まわりの植物や虫の様子などから、季節の変化を感じていく ○身近な植物や動物の成長に興味をもって世話をする			○学校の動植物に関心をもって関わる			
		文字や数量 などの感覚を豊かにする	学校ごっこ	興味・関心をもったものに集中して取り組む ○周囲の環境に興味や関心を持ち、触れる・観る・試すなど試行錯誤する ○語彙や物語を集中して聞く			○一つのことについて時間集中して取り組む ○学校生活を支えている人に関心をもってかわちる ○友達と一緒に学ぶ楽しさを知る ○読み聞かせを、楽しみながら聞く		○身近な自然や物を利用して、遊びに使う物をつくる ○読み聞かせを、想像を広げながら聞く ○場面の様子を、想像を広げながら読む	
び	自分の思いを表現する	双六 かるた ドッジボール	生活の中で文字や数量に触れる ○遊びや生活の中に、文字や記号を取り入れる ○ルールのある遊びを通して、得点（数字）を意識して遊ぶ			○言葉のまとまりを意識して読む ○種類や条件などで仲間をつくる ○10までの数について正しく数えたり、数字を讀んだりなどする ○数を具材料に置き換えて数えたり、数の大きさを比べたりする ○順番や物の位置を数字を使って表す ○10までの数の合成・分解をする		○言葉のまとまりを意識して書く ○言葉のつながりのある文を書く		
		粘土工作 卒園製作	自分の思いを表現する ○思ったことや感じたことを言葉で表現しようとする ○考えたことや経験したことをいろいろな方法で表現する ○絵本や物語の世界を楽しみ、感動を味わったり、楽しんで遊んだりする			○鉛筆の持ち方を知る ○自分の気持ちや感覚を生かしながら楽しく絵を描いたり、身近な自然物の形や色などを基として粘土などで作ったりする ○知っている歌を友達と歌う ○友達と声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする ○友達の歌声や伴奏を聞いて楽しく歌う ○見つけたものを観察したものや絵本などを絵にしたり、気づいたことを言葉や簡単な文にしたりする				
保護者に伝えていきたいこと		○早起き・早寝・朝ごはんの習慣などを身に付けさせること ○生活習慣の自立を図ること ○就学への期待と不安を受け止めてあげること ○友達の大切さを伝えること ○本の読み語りやし、本に興味をもたせていくこと			○元気に学校へ送り出すことや、子供の安全な登下校を意識すること ○子供の話を真剣に聞き、子供のよき理解者となること ○一緒に家庭学習をすること		○手が動かなくなってきたときこそ、心をかけること ○よいところを褒め、自信をもたせること ○一緒に時間を合わせ、翌日の準備の仕方を覚えさせていくこと			

※1 幼児期の保育・教育を小学校に滑らかにつながりやすくするために作成するカリキュラムを指す。

※2 小学校入学当初の子供たちが小学校の生活や学習に適応できるようにするために作成するカリキュラムを指す。